質問状

2017 年 7 月 25 日

株式会社 [redacted]

代表取締役 [redacted]

御 担 当 者 様

〒530-0015
大阪市北区中崎西１－６－３６－３０８
ウータン・森と生活を考える会
代表　西岡 良夫

パーム油発電事業における熱帯林への影響について

拝啓

ウータン・森と生活を考える会は、1988 年より日本国内及びボルネオ島（カリマンタン島）のマレーシア・インドネシアにおいて熱帯林保護活動を行ってまいりました。

近年、パーム油生産のためのアブラヤシ農園の急速な拡大は、ボルネオ島やスマトラ島の熱帯林の大規模破壊や森林火災の原因となっており、生物多様性や気候変動に甚大な悪影響を及ぼし、今や地球環境と人類の持続可能性にとって見逃せないリスクとなっております。

つきましては、貴社のパーム油発電事業について質問をさせていただきたく存じます。

御回答は 8 月 7 日までに、info@hutangroup.org またはウータン・森と生活を考える会事務所の住所まで郵送にていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

――――――――――――――――――――記――――――――――――――――――――

Ｑ１．貴社は、パーム油発電が環境に非常に良いとお考えと思いますが、パーム油の原材料であるアブラヤシの農園拡大が熱帯林や泥炭湿地の破壊を引き起こしていることをご存じでしょうか。

Ａ．知っている　　Ｂ．知らなかった

Ｑ２．食用油の需要の増大に伴い、アブラヤシ農園だけでなく大豆農園などが拡大し、森林の破壊が問題となっています。食用に使うことができるパーム油を燃料に使用してしまうことにより、さらなる森林破壊が引き起こされる恐れがありますが、どのようにお考えでしょうか。

〔　　〕

（二面に続きます）

Ｑ３．貴社は、パーム油発電を開始するにあたり地球温暖化防止をうたっておられると思いますが、燃料用パーム油を生産するために森林や泥炭湿地を開発すれば、CO_2の排出量が化石燃料によるものの８～２０倍に達するという報告があります。（別途資料をご参照ください。）ご存知でしょうか。

A. 知っている　　B. 知らなかった

Ｑ４.貴社の調達するパーム油が環境を破壊するものでないということを、どのように証明されているでしょうか。

〔　　〕

Ｑ５．ＥＵでは、「2020 年までにバイオ燃料の使用を増やす」という方針が、パーム油や大豆油などの生産による環境破壊の問題から、見直しが議論されています。こうした動きを参考にされることはありますでしょうか。

Ａ．参考にしていきたい　　Ｂ．参考にはしない　　Ｃ．その他（　　）

Ｑ６．貴社のパーム油の仕入れ先の国・企業名を差し支えのない範囲でお教えください。（複数可）

国〔　　〕　企業名〔　　〕〔　　〕

国〔　　〕　企業名〔　　〕〔　　〕

Ｑ７．貴社の電力の販売先に当てはまる項目に○をおつけください。

Ａ．電力会社（固定価格買取制度による売電）　Ｂ．事業所　Ｃ．　一般家庭
Ｄ．その他（　　）

Ｑ８．パーム油発電が環境に問題があることを認識された場合には、どのような改善策をとられるご予定でしょうか。

〔　　〕

ご記入者（　　）　部署名（　　）
ご連絡先 （電話：
E-mail :　　）

ご協力ありがとうございました。
ウータン・森と生活を考える会